

( 1 ) 実施機関名：

気象庁

( 2 ) 研究課題(または観測項目)名：

火山噴火シナリオの作成

( 3 ) 最も関連の深い建議の項目：

1. 地震・火山現象予測のための観測研究の推進

( 2 ) 地震・火山現象に関する予測システムの構築

( 2-2 ) 火山噴火予測システム

ア．噴火シナリオの作成

( 4 ) その他関連する建議の項目：

2. 地震・火山現象解明のための観測研究の推進

( 3 ) 地震発生先行・破壊過程と火山噴火過程

( 3-3 ) 火山噴火過程

イ．噴火の推移と多様性の把握

( 5 ) 本課題の 5 か年の到達目標：

各機関における噴火履歴、過去の噴火様式、マグマ組成の時間変化などの研究成果を参考にして、噴火警戒レベルの導入や噴火警報等発表時の防災対策を検討するための噴火シナリオの作成を進める。

( 6 ) 本課題の 5 か年計画の概要：

国土交通省が進める火山噴火緊急減災対策計画等と連携し、火山防災マップの作成とあわせて噴火シナリオの作成を進める。なお、作成した噴火シナリオ等は地方公共団体等における避難計画の検討に採用され、準備の整ったところから噴火警戒レベルの導入を進める。

さらに、あらたな研究成果が得られた場合には、それらを取り入れて、噴火シナリオの高度化を図る。

( 7 ) 平成 23 年度成果の概要：

平成 24 年度内の噴火警戒レベル(以下「レベル」)導入を予定している秋田焼山(秋田県)と白山(石川県、岐阜県)の 2 火山について、噴火シナリオ(以下「シナリオ」)の作成作業を進め、いずれもシナリオの初案が完成した。また、両火山とも地元関係機関へのシナリオの説明を開始した。

なお、岩木山(青森県)についても、同じく平成 24 年度内のレベル導入を予定していたが、東北地方太平洋沖地震の影響を受けた地元関係自治体の意向により、当初の予定から 1 年延期して平成 25 年度内のレベル導入を目標としてシナリオ作成作業を進めている。

また、鳥海山(秋田県、山形県)については平成 25 年度のレベル導入、青ヶ島(東京都)についても近年中のレベル導入を目指してシナリオ作成作業を開始した。

( 8 ) 平成 23 年度の成果に関連の深いもので、平成 23 年度に公表された主な成果物(論文・報告書等)：

無し。

( 9 ) 平成 24 年度実施計画の概要 :

平成 24 年度内に秋田焼山と白山にレベルを導入するため、いずれもシナリオ初案の再検討及び修正を進め、関係機関によって構成される協議会の設立を関係自治体に働きかける。協議会設立後、そこでの検討結果を受けて 2 火山のシナリオをそれぞれ修正し、地元関係機関とレベル導入に向けた行程について合意を得た上で、平成 24 年度内のレベル導入に向けて作業を進める。

岩木山と烏海山及び青ヶ島について、シナリオの作成を進めるとともに、協議会の設立を関係自治体に働きかける。

( 10 ) 実施機関の参加者氏名または部署等名 :

気象庁地震火山部・札幌管区气象台・仙台管区气象台・福岡管区气象台火山監視・情報センター  
他機関との共同研究の有無 : 有  
国土交通省砂防部局、関係大学等

( 11 ) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署等名 : 地震火山部管理課 地震調査連絡係長  
電話 : 03-3212-8341 ( 内線 : 4514 )  
e-mail : jmajishin\_kanrika@met.kishou.go.jp  
URL : <http://www.jma.go.jp>

( 12 ) この研究課題 ( または観測項目 ) の連絡担当者

氏名 : 藤原善明  
所属 : 気象庁地震火山部火山課